

# COC事業において取り組む課題とプロジェクト

- COCプロジェクト（地域志向教育研究プロジェクト）は、平成27年度には19プロジェクトに成長している。
  - 各プロジェクトにおいて、教育・研究・社会貢献を具体的に実践するとともに、地域志向科目の必修化・充実に向けた教育カリキュラムの変革に反映していく。
- ※具体的な各プロジェクトの取り組みについては、P18以降に示す。

## キャンパス立地地域の抱える課題

- 大宮キャンパスが立地するさいたま市・埼玉県では、北関東の玄関口としての拠点性と、首都圏郊外としての居住・産業のあり方が求められる。
- 豊洲・芝浦キャンパスが立地する東京ベイエリアでは、2020年の東京オリンピックなども見据えた人口や産業の変化への対応が求められる。
- これらの課題は、大都市の都心部や周縁部の特性を顕著に現しており、大学COC事業採択校の中でも特徴的な地域課題となっている。

## 2015年度COCプロジェクト

- 個別の地域課題に対して、理工系大学としての特色をいかし、「まちづくり」と「ものづくり」の観点からCOCプロジェクトを立ち上げ、地域との連携のもと、具体的な地域志向の取り組みを推進している。
- プロジェクト数（参加教員数）は、2013年度当初の7(31名)から、2014年度11(63名)、2015年度19(83名)と増加している。

### 江東区周辺

- 河川・運河の再生および有効活用
- 希薄化した地域コミュニティの改善
- 見守りや災害などのコミュニティの強化
- ものづくり産業の国内回帰

### 港区周辺

- 政治・経済・文化の中心地としての環境づくり、商業・業務・住宅の共存
- 歴史・水・緑を活かした景観形成・都市観光
- IT・デザイン産業、高所得住民のニーズ

### 埼玉県・さいたま市

- 活力ある都市環境、低負荷環境
- 協働による都市・地域計画システム
- 高齢化に対応したモビリティ
- 都市の個性、地域企業、商店街機能
- 次世代自動車・スマートモビリティ特区



## 地域のニーズ・課題・団体との連携と実践教育の場



No.	プロジェクト名	2013	2014	2015	江東区	港区	さいたま市	埼玉県
1	ロボット技術による見守り・健康支援等スマートタウン構築	●	●	●	●			
2	木材業者との連携による居住環境の改善	●	●	●	●			
3	内部河川・運河の活用とコミュニティ強化	●	●	●	●	●	●	
4	デザイン工学と経営学の両輪による地域人材の育成	●	●	●	●	●		
5	芝浦アーバンデザイン・スクール	●	●	●		●		
6	まちづくりコラボレーション～さいたまプロジェクト	●	●	●			●	●
7	低炭素パーソナルモビリティと移動情報ネットワークサービスの開発	●	●	●			●	
8	システム思考を用いた地域間連携型農業支援	●	●	●			●	
9	機械系ものづくり産業地域との連携による技術イノベーション創出のための実践教育	●	●	●				●
10	マイクロ・ナノものづくり教育イノベーション	●	●	●	●			
11	地域課題解決思考を通じた土木技術アクティブラーニング	●	●	●	●	●		●
12	気候変動と地震災害に適応したレジリエントな地域環境システム	●	●	●	●			●
13	ものづくり中小・大手メーカーとのマイクロテクスチュア技術教育	●	●	●	●	●		
14	東京臨海地域における安心安全のまちづくりを推進するロードマップの作成	●	●	●	●			
15	インバウンドビジネスを創出するグローバル・ローカリゼーションプロジェクト	●	●	●	●		●	
16	中央卸売市場移転事業豊洲サイバーエンボリウムプロジェクト	●	●	●	●			
17	地域コミュニティにおける生活コミュニケーション活性化技術～一人に優しいヒューマン・マシン対話の実現～	●	●	●	●		●	
18	(仮称) 芝浦まちづくりセンター	●	●	●	●	●		
19	地域密着型の技術系中小企業による新製品開発の支援プロジェクト	●	●	●	●	●		●

